

- ① … 平成28・29年度理事、28～31年度評議員選出・全国高等学校総合体育大会埼玉県予選、昌平は初優勝
- ② … 「公益財団法人埼玉県サッカー協会功労表彰式」開催
- ③ … 平成28・29年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 各委員会委員名簿
- ④ … 熱中症対策について(公財)埼玉県サッカー協会 専務理事 坂庭 泉
- ⑤ … 「指導者が集まれる場が欲しい」～埼玉県高校サッカー専門部座談会～
- ⑥ … 大会記録●県内大会 1種自治体・2種高校・4種・女子・フットサル
- ⑦ … 大会記録●県外大会 1種社会人・大学・2種高校・女子
- ⑧ … 大会記録●県外大会 女子・シニア・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

平成28・29年度理事、 28～31年度評議員選出

去る6月19日、さいたま市共済会館にて評議員会が開催され、平成28・29年度を担う新理事(任期2年)が選出されました。また同日に選出された理事会も開催され、会長、副会長、及び専務理事を互選という形で選出し、以下のようになりましたので、ご報告します。

なお、評議員会も改選時でしたので、評議員選定委員会によって新評議員(任期4年)10名が選ばれた上での理事会だったことを付記しておきます。

公益財団法人埼玉県サッカー協会 理事・評議員

会 長	横山 謙三				
副 会 長	星野隆之	岡田 泉	渡辺典子		
専務理事	坂庭 泉				
理 事	秋谷 仁	荒川裕治	植松孝博	忍田行廣	小高達朗
	柏悦郎	駒崎昌利	柴崎康之		
	関 純	二瓶省三	林 昭雄	高橋昭夫	高橋勝行
	田中龍太郎	東島雅之	西川誠太	福田直史	宮崎幹夫
監 事	栗原靖治	原田 明	船崎久壽		
(理事・監事は五十首順)					
評 議 員	遠藤圭介	大木正幸	大倉 浩	岡本武行	上條 岳
(五十首順)	小林利成	新藤一晴	難波綾子	野間 薫	畑中隆一



平成28・29年度 理事



平成28～31年度 評議員

昌平は初優勝、聖望学園も初の準優勝。共に初陣! ～平成28年度学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選～

6月22日、NACK5 スタジアム大宮において決勝戦が開催され、4対4からの延長の末、昌平が決勝点を挙げて5対4で追いつく聖望学園を振り切って、初優勝を決めました。

前半は昌平の攻撃陣が躍動し4対1の大差で折り返すも、後半になって聖望学園が3点奪って追いつくという見ごたえのある展開となりました。両チームとも、この攻撃力で全国を席卷し、上位入賞を目指してください。



優勝 昌平高校



決勝 昌平 vs 聖望学園



準優勝 聖望学園高校

「公益財団法人埼玉県サッカー協会功労賞表彰式」開催

5月30日、ラフれさいたまにて、功労賞表彰式を開催しました。皆様、おめでとうございます。また、引き続き埼玉サッカーの発展のために、ご尽力いただきますよう、よろしくお願い致します。

	受賞者氏名 受賞チーム名	受賞理由
1	馬場典成	埼玉県・南部・北足立南部の少年サッカー連盟の理事などを25年以上にわたり歴任し、埼玉県サッカーに貢献した。
2	鶴岡明	埼玉県サッカー協会の医事委員長として、埼玉県サッカーに貢献した。
3	塩野潔	埼玉県サッカー協会の評議員・医事委員として、日本サッカー協会・埼玉県体育協会の医事に関わり、サッカー界に貢献した。
4	筑井信夫	第1回妻沼カップから現在に至るまで大会にご尽力いただき、高校女子サッカーの発展に寄与し、埼玉県サッカーに貢献した。
5	深澤晴男	西部地域協議会会長・東松山市サッカー協会会長として、埼玉県サッカーに貢献した。
6	櫻沢克幸	北部地域協議会理事・美里町サッカー協会会長・児玉町サッカー協会理事・強化審判員として埼玉県サッカーに貢献した。
7	浦和レッドダイヤモンズ	2015 Jユースカップ 第23回Jリーグユース選手権大会で優勝
8	レジスタFC	第39回全日本少年サッカー大会で優勝
9	UILANI FC	第27回全国レディースサッカー大会で優勝



祝辞を述べる横山謙三会長



表彰者を代表して、挨拶される馬場典成さん



馬場典成さん



塩野潔さん



筑井信夫さん



櫻沢克幸さん



浦和レッズユース監督・大槻毅さん



レジスタFC監督・渡辺泰明さん



UILANI FC・中池桃子さん



乾杯のご発声は星野副会長



合わせて理事会を開催していただきましたので、理事・監事の皆さんとお祝いをさせていただきました。



医事委員会発足時の話をされる塩野さん



全日本少年サッカー大会を振り返る渡辺さん



皆様、ありがとうございました。また、引き続きよろしくお願い致します。(鶴岡さん、深澤さんは欠席)

平成28・29年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 各委員会委員名簿

専門委員会

●フェアプレー規律委員会

委員長 柴崎康之
委員 高橋勝行 田中龍太郎 柏悦郎
委員 井部衛 宮崎剛雄 渡辺典子
委員 井橋光平

●財務委員会

委員長 小高達朗
委員 狩野智津子

●技術委員会

委員長 福田直史
委員 荻野清明 大森健司 山崎勉
委員 大山武士 長谷川暁雄 河野雅明
委員 塚本卓司

●審判委員会

委員長 岡田泉
委員 瀨名哲也 齋藤由雄 中村雅
委員 今野正朝 田中忍 木村滋
委員 渡辺典子 木村康弘 小松一茂
委員 北澤愛一郎 宮崎剛雄

●広報委員会

委員長 荒川裕治
委員 按田薫 田口和生 戸苺淳
委員 友清 創

●施設委員会

委員長 二瓶省三
委員 船越良 松井隆 下谷新一
委員 忍田国彦 谷山洋 鈴木豊
委員 杵淵伸治 後藤英二 渡辺典子
委員 秋谷仁 高橋昭夫

●医事委員会

委員長 関純
委員 大塚一寛 石橋俊郎 川久保武生
委員 岩本健一

●科学委員会

委員長 西川誠太
委員 稲山貴代 安松幹展 石崎聡之
委員 薄井澄誉子

●総務委員会

委員長 林昭雄(新任)
委員 篠田秀実 小高達朗

種別委員会

●第1種委員会

委員長 植松孝博(新任)
委員 富岡孝三 大津祥治 藤井武
委員 上原陽一 大貫信吾

●第2種委員会

委員長 田中龍太郎(新任)
委員 池田一義 齋藤毅 三矢正則
委員 二見元 安元利充 末貴光

●第3種委員会

委員長 柏悦郎
委員 鈴木勇 谷地田昌史 小内幸一
委員 都所亮介

●第4種委員会

委員長 東島雅之
委員 井部衛 後藤英二 菅勝行
委員 大山武士 河野雅明 福澤貢盛
委員 小泉孝宏 八谷直樹 川見弘

●女子委員会

委員長 矢島理子
委員 上代圭子 渡辺典子 神戸慎太郎
委員 大須賀まき

●シニア委員会

委員長 秋谷仁(新任)
委員 池田幸二 鈴木誠一 関口裕
委員 樫村憲二

●フットサル委員会

委員長 高橋昭夫
委員 熊倉純一 高橋洋一 藤田剛広
委員 坂本恵

審判委員会各部会紹介

●総務部会

部会長 今野正朝
部員 幡野明彦 阿部将茂

●指導者部会

部会長 田中忍
部員 白石一夫 関根弘之 高崎靖夫
部員 西和彦 澤田信浩 高橋諭
部員 安元利充 小松一茂 細田和秀
部員 久下智 西宏和

●強化部会

部会長 木村滋

●育成部会

部会長 木村康弘

●登録普及部会

部会長 小松一茂

●フットサル・ビーチサッカー部会

部会長 宮崎剛雄

熱中症対策について

(公財)埼玉県サッカー協会 専務理事 坂庭 泉

平素は、本協会事業に対しましてご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般JFAから2016年3月10日付「日サ協第160054号」(SFA NEWS 82号)に掲載されていますので必読願います)にて熱中症対策についてのガイドラインの通達がありました。

この通達を受け、埼玉県サッカー協会としても人命尊重という立場からJFAの趣旨を理解した上で、現状を考慮し埼玉県サッカー協会としての今年度の方向性を決定致しましたのでご連絡致します。所属の各チームに徹底するよう通達ください。皆様のご理解ご協力をお願いします。

1、今年度の埼玉県サッカー協会の方向性JFAの「熱中症対策ガイドライン」に従う

① 選手・審判を含めて常時水が飲めるようにする。

② 「Cooling Break」を以下の回数で実施。

人命を第一に考え6月15日から9月15日までの試合(練習ゲームにも適用)については必ず「Cooling Break」を設ける。

20分～40分ゲームは2回以上

41分～70分ゲームは3回以上

71分～90分ゲームは4回以上

この運用については大会主催者・両チーム代表者・審判等、試合前に確認の上実施して下さい。

尚、今回の対策に伴いゲームを中止する場合、リーグ戦方式の勝敗の決定、トーナメント方式の勝敗の決定方法について大会要項に明確にしておく事。

(例：抽選方式・中止決定時の結果・再試合等)

上記を行う上であくまで、選手の健康を第一優先に試合を考えて下さい。

次年度については、今後各種連盟の意見をいただき検討する。以上

「指導者が集まれる場が欲しい」

～埼玉県高体連サッカー専門部座談会～

◆出席者

林 昭雄 専門部部长 (県立庄和高校校長)
池田 一義 専門部委員長 (さいたま市立浦和高校)
二見 元 専門部副委員長 (県立大宮東高校)
※三矢正則 専門部副委員長 (県立朝霞高校)は欠席

「刺激を与えたい」(林)

—本日はありがとうございます。県高校総体も無事終わった直後に恐縮です。さて今回は任期によって、執行部の皆さんの顔ぶれが入れ替わったということもあり、お話を聞かせていただきたいと思っています。

まずはお一人ずつ、どのように現状を捉えていらっしゃるかを教えていただけますか。まずは林部長からお願いします。

林 しばらく県庁勤務となり、サッカーの現場から離れていましたので、久々に戻ってくることができたことをうれしく思っています。現場に立っていた教員時代から、今は管理職の立場になりましたが、こうやって試合現場にいさせてもらおうと、改めてサッカーは素晴らしいスポーツだと思えますね。今日(県高校総体決勝)、先ほどスタンドに席を用意してあると聞きましたが、どうしてもピッチレベルで見たくて、わがままを言わせてもらいました。やはり、よかったですね(笑)。

こういう大会に参加させてもらい、選手たちの技術や戦術が昔と比べて格段に向上していると感じています。ただ半面、指導者が進歩しているのか? と聞かれると、決してそうではないような気がしています。この二年、専門部長という立場から刺激を与えたいと思っています。よろしくお願いします。

池田 4月から委員長を務めさせていただいています。すでにいくつかの大会を経て、もう6月ですが、委員長として責任の重さを痛感しているところです。

大きな課題は、埼玉県代表のチームが全国で勝てていないことをどうするのか。各チームの特徴もありますので、それぞれのチームで全国レベルに作り上げていくことが求められます。個人的には、自分のチームのこだわりを深く追求してほしいと思っていますし、その上で勝ち切るチームを育ててほしいもので



林 昭雄 専門部部长

す。また、県内の上位チームの戦いを見て、若い指導者が何かを感じてくれて自分のモノにしてもらえるといいなと思っています。今、林部長がおっしゃったように指導者の向上は必要不可欠です。その取り組みを考えないといけませんね。

二見 4月から副委員長を務めさせていただいております。改めてサッカーというスポーツがもつ魅力を感じ、埼玉の代表チームが全国で優勝することを目標に頑張ろうと思います。埼玉から選手を発掘し、各年代の日本を代表する選手を育成していきたいと考えています。

「若い人と関わりたい」(池田)

—ありがとうございます。やはり、全国で勝ちたいですね。

林 当然ですよ。関わっている人は全員そうですね。

—これまでも歴代の皆さん、同じように語っていただきました。ただ、現実には難しいのが現状です。そこで、具体的な施策があれば教えてください。この執行部ならではの施策はありますか?

池田 まだ執行部間での相談はできていないですね。ですから、この場での発言は個人としてのものになってしまうことを許してください。その上で、なのですが、全体的にみるとどのチームもリーグ戦の日程、勝敗に追われてしまっていて、以前よりもチームづくりができていないような気がしています。どうでしょう、練習量が減っているような気がするんです。

林 今は、毎週のようにリーグ戦を行っていますからね。

池田 ここ数年の中で「リーグ戦文化を作ろう」ということで、スケジュール調整をしてきました。このリーグ戦文化にも一長一短があることがわかってきました。リーグ戦を中心にやってきましたが、今のところチームの強化を「こうやっていこう」という道筋がないんですね。これは検討しなければならないことだと思っています。

あと、これは直接選手たちには関係ありませんが、若い顧問の皆さんに“やる気”を持ってもらえるような組織にしていきたいと思っています。各支部においては、若い人たちに様々な役割についてもらっていますが、本当にやりたい仕事をしてもらっているのかどうかはわかりません。常々「審判資格を取ってください」「指導者資格を取ってください」とお願いしていますが、両方取ってくれた皆さんにはそれぞれに関わりたい仕事、やりたいポストへの配置を考えています。

実のところ、個人的には、若い人と関わりたいだけなのですが(苦笑)。リーグ戦が無かった頃は、有志と一緒に関東大会を観に行き、いろいろと話をしたものです。また自分のチームが出たときは、先輩たちが見に来てくれてアドバイスをもらいました。皆さん、忙しいせいか、そういう一体感が無くなりましたね。もう一度、一体感を作っていきたいと考えているのです。

林 今は高校選手権を埼玉で開催しているので、若い指導者は試合を観ているのではないですか?



池田 一義 専門部委員長



学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選 男子決勝

池田 うーん、役員をしていますから、じっくり観ているということはないですね。

林 まだ「真剣勝負」を観ていないのでしょうか。厳しさを味わっていないのでしょうか。

「やはりチームの結果」(二見)

二見 今回の高校総体の準決勝、決勝でもそうですが最後は個人の能力だと思います。もっと個人のレベルを上げることができれば全国大会でも結果が出ると思います。勝ちたいのは選手も指導者も同じです。だからこそ中学年代の子どもたちは強いチームに魅力を感じて他都県にいつてしまうと思います。埼玉県の代表チームが昔のように全国で結果を残すことができたなら選手たちは埼玉県に残ってくれるはず。やはりチームの結果だと思います。指導者が力を合わせて環境を作っていければ3種年代のチームに発信できると思うのです。



二見 元 専門部副委員長

池田 とにかく出ていきますね。現状としては、埼玉県に残ってくれた子どもたちをどうするかです。

二見 その選手たちに期待をしています。

池田 だからこそ、今いる我々指導者の問題なのです。学ぶ時間が足りないと思いますね。先日、田中さん(龍太郎氏・大宮南高校)と会食をしていたときに、若い指導者も一緒でしたが、我々の話を食い入るように聞いてくれました。「やはり、こういう場が必要なのだな」と思いましたね。

林 指導者同士がコミュニケーションできる場が必要ですね。そうするとサイクルができてくるかもしれません。

池田 まだ私は、教え子が教員となって指導者になってくれるので、交流できるのですが。そうですよ、場づくりの一環として、SFAでうち(市立浦和)のグラウンドを人工芝にしていればいいんですよ(笑)。

二見 大宮東も人工芝にしていれば年代を超えて集まってきてくれると思います。

池田 いつ集まる? 一回集まっただけじゃね。とにかく一緒にボールを蹴る機会が欲しいですね。もちろん、それだけで指導力が向上に繋がるわけではありませんが、ライセンスを取得した後、表現する場やお互いを評価し合う場があってしかるべきです。

メキシコ(国体強化合宿)に行ったときには、指導者同士でボールを蹴ったものです。集まって指導者だけでボールを蹴ろうじゃないですか。



学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選 女子決勝

林 そうだね。

二見 そういう時間が指導者にも大切だと思います。

—まずは高校の指導者からかもしれませんが、3種、4種、女子の指導者の皆さんも一緒に集まる必要があるかもしれませんが、横のつながりというか、顔の分る関係が作れていないのが残念です。どこでやるのか、いつやるのか、またどうやって継続していくのか……。考えることは多いですが、まずは一歩を踏み出したいですね。

「女子との一体化を」(池田)

池田 よろしくお願ひします。あと、こちらからいいですか? 一昨年から、女子も高体連に入ってもらっています。今までは女子部としていましたが、これからは女子との連携が必要だと思っています。先程の話ではありませんが、女子も「勝ちたい」んです。でも、このままならダメだと思います。とにかく組織は大事です。もう10年も見てきましたけど(苦笑・池田氏は長く市立浦和女子サッカー部の顧問だった)。

林 男女平等でいきたいと思います。

池田 そのほうが試合会場のグラウンドも取りやすいと思うんですよ。女子サッカーへの理解が進めば、選手は増えるはず。大宮東も女子サッカー部を作ってくれるでしょう(笑)。

二見 フィジカルの高い生徒はいますね。

池田 そういう生徒がいるところがすごいですよね。次は、未さん(貴光氏・花咲徳栄高校)も一緒をお願いします。

—承知しました。近いうちにまた集まりましょう。今回はありがとうございました。

訃報

去る4月11日、埼玉県サッカー協会副会長でもいらした倉持守三郎氏がお亡くなりになりました。享年83歳でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

倉持先生の思い出

(公財)埼玉県サッカー協会 理事 柴崎 康之

倉持先生は、浦和高校の中心選手・左インサイドハーフとして活躍され、昭和26年度広島国体・インターハイ・全国高校サッカー一選手権大会優勝・3冠と1年間無敗52連勝という大記録を残されました。その後、東京教育大学サッカー部で活躍され、卒業後母校である浦和高校に赴任されました。

昭和47年、私が浦和高校に入学した当時、先生はサッカー部監督として、また国際審判員、日本を代表するレフリーとして活躍されていました。浦高時代の先生は、生徒の個性を伸ばすよう、優しく粘り強く私たちを見つめてくださいました。生意気な私たちが無事成長し、現県立浦和高校サッカー部顧問松村道彦教諭

や私が先生と同じ道を歩んだのも、先生の影響であると思います。

また、その後多方面で活躍された先生ですが、特に埼玉県サッカー協会においては、副会長として埼玉サッカーの歴史を築き、その発展に多大なる貢献をされました。この場をお借りして、感謝申し上げます。

私たちサッカー部の仲間が先生を思うとき、次の言葉が浮かびます。「温厚」「頑固」「誠実」「優しさ」。そして先生は「こよなくお酒を愛し」「こよなくサッカーを愛し」「こよなく生徒を愛した」方でした。その人柄にひかれ、私たち浦高サッカー部十数名の卒業生が、高校卒業後40年来、毎年元旦に先生のご自宅に伺わせていただきました。ご家族の皆様には大変なご負担をおかけいたしました。先生と仲間たちと素晴らしい時を過ごし、今も強い絆で結ばれているのも先生やご家族の皆様のおかげであると、心より感謝しております。「ありがとうございました。」

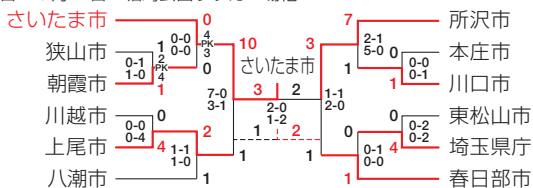
この先生のサッカーや生徒に対する愛情や情熱を私たちが受け継ぎ、微力ながら日本の、埼玉のサッカーの発展に尽力していきたいと思っています。

大会記録 ● 県内大会

1種・自治体

第45回全国自治体職員サッカー選手権大会埼玉県予選

4月23日～5月21日 堀崎公園サッカー場他

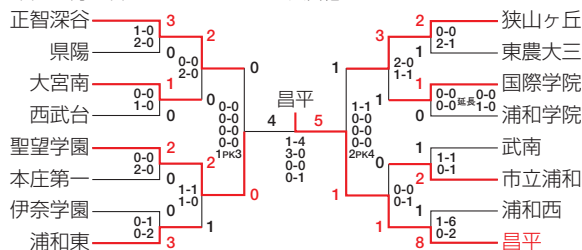


決勝 本庄第一 vs 入間向陽

2種・高校

平成28年度学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会埼玉県予選

5月28日～6月22日 Nack5スタジアム大宮他



準決勝 本庄第一 vs 浦和西

準決勝 入間向陽 vs 花咲徳栄

※昌平、聖望学園ともに広島で開催される平成28年度全国高等学校総合体育大会に出場する。試合予定は以下の通り。

平成28年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会

7月26日～8月2日

●1回戦 7月27日(水)

10:00 中津東(大分) vs 昌平 呉市総合スポーツセンター陸上競技場

12:00 徳島市立(徳島) vs 聖望学園 広島県立びんご運動公園陸上競技場

●2回戦 7月28日(木)(予定)

10:00 東福岡(福岡) vs 昌平 広島広域公園第1球技場

12:00 聖望学園 vs 熊本国府(熊本) 対 鹿島学園(茨城)の勝者
広島県立びんご運動公園陸上競技場

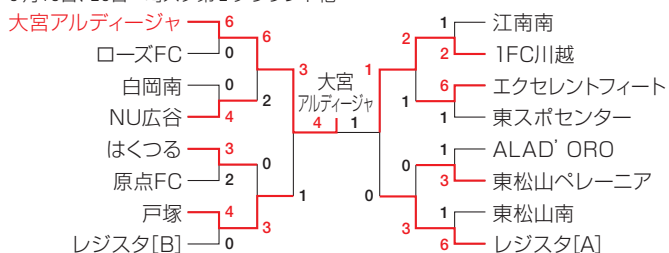


優勝 本庄第一高校

4種

第40回関東少年サッカー大会埼玉県大会

6月19日、26日 埼玉スタジアム2ndグラウンド他



※上位3チームが第40回 関東少年サッカー大会に埼玉県代表として出場。

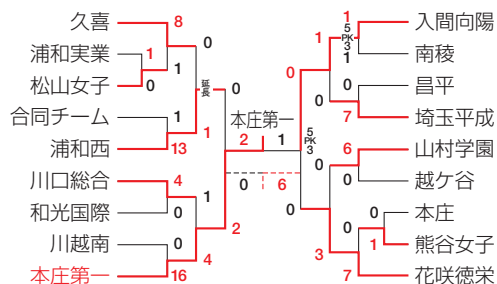


準優勝 入間向陽高校

女子

平成28年度学校総体【高校女子サッカーの部】埼玉県予選

4月23日～5月15日 浦和駒場スタジアム他



※優勝した本庄第一高校は関東大会(高校総体関東予選)へ出場する。

2016 第21回埼玉県女子U-15ユース大会

4月23日～5月14日 しらかば陸上競技場他



フットサル

第3回全日本ユース(U-18)県大会

5月21日～29日 宮代体育館他

順位	チーム	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	正智深谷高校フットサル部	7	2	1	0	4	2	+2
2	BOA SC U-18	6	2	0	1	5	2	+3
3	テールさいたまU-18	2	0	2	1	4	6	-2
4	観明高校フットサル部	1	0	1	2	3	6	-3

※正智深谷高校が優勝し、関東大会(7月3日)へ出場する。

大会記録●県外大会

1種・社会人

第52回全国社会人サッカー選手権大会・関東予選

6月5日～19日 関東各地

1回戦	ACアルマレッザ入間	1 - 1	宇都宮FC (5PK6)
	東京国際大学FC	1 - 2	エリースFC東京
	エスペランサSC	3 - 2	クマガヤSSC (延長)
	YOKOHAMA FIFTY CLUB	0 - 3	大成シティFC坂戸
	LB-BRB TOKYO	0 - 0	Tokyo International Univ (10PK9)
2回戦	大成シティFC坂戸	0 - 2	さいたまSC
代表決定戦(E)	エスペランサSC	2 - 1	さいたまSC



代表決定戦 さいたまSC vs エスペランサSC

1種・大学

「アミノバイタル」カップ2016

第5回関東大学サッカートーナメント大会プレーオフ

5月28日 各地

立正大学	1 - 0	平成国際大学
埼玉工業大学	0 - 1	江戸川大学
群馬大学	2 - 4	城西大学 (延長)

※城西大学は本大会へ出場する。

2種・高校

平成28年度第58回関東高等学校サッカー大会

6月4日～6日 セットエーオリピスタジアム他

1回戦	駒澤大学	2 - 1	正智深谷
	昌平	4 - 3	山梨学院
準決勝	昌平	3 - 2	高崎経大附
決勝	昌平	2 - 0	矢板中央

※昌平はBグループで優勝し、大会3位に入賞した。Aグループの優勝は駒澤大学。



Bグループ優勝 昌平高校



Bグループ決勝 昌平 vs 矢板中央



Bグループ準決勝 昌平 vs 高崎経済大附



Bグループ1回戦 昌平 vs 山梨学院



Aグループ1回戦 正智深谷 vs 駒澤大学

女子

平成28年度 第58回関東高等学校サッカー大会

6月4日～6日 姉崎サッカー場他

1回戦	星槎国際湘南	2 - 1	本庄第一
-----	--------	-------	------

※優勝は星槎国際湘南。



1回戦 本庄第一 vs 星槎国際湘南

第21回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼 第21回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会関東予選

6月11日～19日 草津白根第4グラウンド他

1回戦	横須賀シーガルズ	1 - 0	ちふれASエルフェン埼玉マリ
	戸木南ボンパーズFC	6 - 2	FC熊谷PRECIOSA
2回戦	浦和レッズレディースJrユース	3 - 0	横須賀シーガルズ
	大宮FCエンジェルス05	1 - 3	十文字中学校
	白岡SCL	1 - 0	戸木南ボンパーズFC
準々決勝	浦和レッズレディースJrユース	3 - 0	栃木SCレディース
	白岡SCL	2 - 0	日テレ・メニーナ・セリアス
準決勝	浦和レッズレディースJrユース	4 - 0	十文字中学校
	ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15	2 - 0	白岡SCL
3位決定戦	十文字中学校	4 - 1	白岡SCL
決勝戦	浦和レッズレディースJrユース	1 - 0	ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15

※優勝した浦和レッズレディースJrユースと4位の白岡SCLは本大会へ出場する。

少女サッカー埼玉カーニバル2016

6月12日 さいたま市八王子公園サッカー場



シニア

2016年度第16回全国シニア(60歳以上)サッカー大会

6月4日～6月6日 松本平広域公園芝生グラウンド他

●1次ラウンド

順位	グループD	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	埼玉シニア60	7	2	1	0	8	1	+7
2	福岡六十雀フットボール倶楽部	4	1	1	1	1	1	±0
3	秋田シニアサッカークラブ	4	1	1	1	2	4	-2
4	SUPER GOAL(北海道)	1	0	1	2	0	5	-5

●2次ラウンド

準決勝 広島島選抜60 2-2 埼玉シニア60 (5PK4)

※優勝は東京都選抜。



2016年度シニア(70歳以上)サッカーフェスティバル

6月4日～6月6日 長野県フットボールセンター他

順位	グループH	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	埼玉シニア70	9	3	0	0	16	0	+16
2	三重ロイヤル	6	2	0	1	5	6	-1
3	新潟FC70	3	1	0	2	1	10	-9
4	青森シニア70サッカークラブ	0	0	0	3	0	6	-6

※埼玉シニア70はグループ優勝。



フットサル

第32回全国選抜フットサル大会関東大会

5月21日、22日 栃木県県南体育館

1回戦 埼玉県 2-4 神奈川県

※優勝した千葉県、準優勝した群馬県が本大会へ出場する。

インフォメーション

●平成28年度埼玉県GKキャンプ実施報告

平成28年7月3日(日)埼玉スタジアム2002第4グラウンドにて、第1回埼玉県GKキャンプを実施しました。第1回は県内U16、U15の選手を対象に県トレセンや地区トレセン、各地区で行われているGKトレーニング参加者の中からセレクトし、U16が13名、U15は13名の選手が参加しました。指導は県GKプロジェクトの指導者10名が担当し、U16は県U16トレセンGKコーチの上原克彬氏(川口東高校)、U15は県U15トレセンGKコーチの中島康夫氏(川口工業高校)がメインコーチとしてトレーニングにあたりました。

トレーニングはそれぞれのカテゴリーごとに行い、両カテゴリーともシュートストップのテーマでトレーニングを行いました。安全確実にプレーすることを狙いに、U16では意図的な方向にボールを弾き出すディフレクトングのトレーニングやU15では良いタイミングで構え、プレーすることを中心にトレーニングを行いました。

当日は気温も高く、選手にとっては厳しいコンディションの中でしたが、集中してトレーニングを行い、とても充実した活動を実施することができました。

次回は12月にU14、U13のGKを対象とした第2回GKキャンプを実施します。

報告者：塚本卓司(埼玉県GKプロジェクト、上尾鷹の台高校)



第71回国民体育大会関東ブロック大会 サッカー競技

●組み合わせ

成年男子

1回戦 8月13日 11時～ 押原公園人工芝グラウンド
埼玉県 vs 千葉県

代表決定戦 8月14日 11時～ 押原公園人工芝グラウンド
埼玉県 vs 群馬県と栃木県の勝者

女子

1回戦 8月13日 11時～ 蕨崎中央公園陸上競技場
群馬県 vs 埼玉県

代表決定戦 8月14日 11時～ 蕨崎中央公園陸上競技場
埼玉県 vs 神奈川県と山梨県の勝者

少年

1回戦 8月17日 11時～ 押原公園人工芝グラウンド
栃木県 vs 埼玉県

代表決定戦 8月18日 9時30分～ 押原公園人工芝グラウンド
埼玉県 vs 神奈川県と茨城県の敗者

編集後記

各種別のホームページの更新が遅いと苦情をいただいています。現在は大会を開催している各種別連盟と連携する形で、SFAのホームページはそれぞれに相互乗り入れしてもらえるように「プラットフォーム」的な感じで展開しています。どういう形がいいのかを各方面の皆さんと話をしながら、よりよくしていきたいと思っています。ただ、基本は

各種別での更新があってこそです。ホームページへは大会要項の掲載に始まり、組み合わせの掲載、そして結果掲載までが報告義務の一つでもありますので、よろしく願います。また、県民の皆様にはご不便をおかけしていますが、引き続き、ご支援をお願いします。